

沖縄県介護保険広域連合

第26号

2024年10月発行

- ◎ 第9期介護保険事業スタート ◎ 関係連絡先一覧
- ◎ 令和5年度 沖縄県介護保険広域連合決算について
- ◎ 介護の日について ◎ 議会の議決結果等について ◎ 介護予防事業

国頭村では、世界自然遺産に次ぐ貴重な自然環境を将来に渡って保存しながら星空保護を行い、生活に必要な灯を維持しつつ「不必要な光を制限」すること（光害）を目的とした「星空保護区」認定に向け取り組んでいます。

国頭村：森林公園からの星空



沖縄県介護保険広域連合とは？

介護保険財政の運営を安定的に行い、介護サービスの平準化を図るとともに、介護保険の諸課題の解決に取り組んでいる特別地方公共団体です。沖縄県内の29市町村で構成されています。

沖縄県介護保険広域連合

検索

ホームページも見てね！



広域内人口情報等 （令和6年6月末現在） 典拠：住民基本台帳等

人口	446,974人
高齢者数（65歳以上）	107,756人
高齢化率	24.1%
認定率（第1号被保険者のみ）	17.1%

第9期介護保険事業計画スタート！

～住み慣れた地域でいつまでも元気に～

介護保険制度は2000年4月に沖縄県内市町村を保険者として始まり、2003年2月に沖縄県介護保険広域連合は設立されました。第2期介護保険事業計画が開始となり、これまで8期にわたり「介護保険事業計画」を策定してきました。

第9期となる本計画では、設立以来課題となっていた複数保険料が一本化（均一賦課）されました。また、「自分らしく“健康長寿”」を基本理念とし、これを実現するため、さまざまな施策を展開し、今後の介護ニーズと持続可能性を考慮した介護保険事業に取り組んでまいります。



「第9期介護保険ガイド」
リーフレット ⇒
※お住いの市町村窓口で配布
しております。



令和5年度 沖縄県介護保険広域連合一般会計決算

歳入決算額

科目	決算額
分担金及び負担金	11億2,145万円
使用料及び手数料	318万円
国庫支出金	3億2,064万円
県支出金	1億8,011万円
繰入金	7,560万円
繰越金	5,579万円
諸収入	2,250万円
歳入合計	17億7,927万円

歳出決算額

科目	決算額
議会費	286万円
総務費	9億5,792万円
諸支出金	7億7,880万円
歳出合計	17億3,958万円

総務費のうち職員に係る人件費

給料	1億7,385万円
職員手当等	1億571万円
共済費	5,576万円

令和5年度 沖縄県介護保険広域連合特別会計決算

歳入決算額

科目	決算額
保険料	80億1,820万円
分担金及び負担金	46億9,306万円
国庫支出金	85億7,242万円
支払基金交付金	93億6,839万円
県支出金	53億702万円
繰入金	11億1,176万円
繰越金	17億6,343万円
諸収入	9,351万円
歳入合計	389億2,779万円

歳出決算額

科目	決算額
保険給付費	334億9,057万円
地域支援事業費	21億5,831万円
保健福祉事業費	1,718万円
基金積立金	9億2,424万円
諸支出金	9億8,590万円
歳出合計	375億7,620万円

※1万円未満端数調整

沖縄県介護保険広域連合議会の議決結果等について

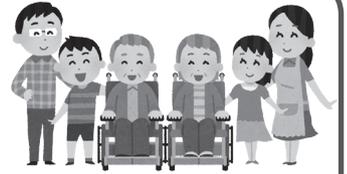
以下のとおり、議会を開催しました。議案等の議決結果については、沖縄県介護保険広域連合ホームページよりご覧いただけます。



議会	予算案	条例案	その他議案	承認	報告
第68回定例会 (令和6年8月)	2件	0件	2件	0件	0件

いい日、いい日
11月11日
毎日あったか介護
ありがとう

11月11日は、 「介護の日」です。



介護の日とは、

“介護について理解と認識を深め、介護サービス利用者とその家族、介護従事者等を支援するとともに、利用者、家族、介護従事者、それらを取り巻く地域社会における支え合いや交流を促進する観点から、高齢者や障害者等に対する介護に関し、国民への啓発を実施するための日”です。（厚生労働省）

介護の日は、上記を目的として、2008年に制定されました。しかし、11月11日が介護の日であることを認知している方は、まだ少ないのが現状です。この機会に介護について理解を深めてみてはいかがでしょうか。



関係連絡先一覧

○構成市町村介護保険担当課

介護保険のサービスを利用したい場合、まずは市町村の窓口にご相談しましょう。

市町村名	担当課名	電話番号
国頭村	福祉課	0980-41-2765
大宜味村	住民福祉課	0980-44-3003
東村	福祉保健課	0980-43-2202
今帰仁村	健康づくり推進課	0980-56-4189
本部町	福祉課	0980-47-2165
恩納村	福祉課	098-966-1207
宜野座村	健康福祉課	098-968-3253
金武町	保健福祉課	098-968-5933
伊江村	住民課	0980-49-2002
伊平屋村	住民課	0980-46-2142
伊是名村	住民福祉課	0980-45-2819
読谷村	福祉課	098-982-9209
嘉手納町	福祉課	098-956-1111
北谷町	福祉課	098-936-1234
北中城村	福祉課	098-935-2263

市町村名	担当課名	電話番号
中城村	福祉課	098-895-1738
西原町	福祉課	098-945-4791
豊見城市	障がい長寿課	098-856-4292
八重瀬町	社会福祉課	098-998-9598
南城市	生きがい推進課	098-917-5341
与那原町	福祉課	098-945-1525
南風原町	保健福祉課	098-889-4416
久米島町	福祉課	098-985-7124
渡嘉敷村	民生課	098-987-2322
座間味村	住民課	098-896-4045
粟国村	民生課	098-988-2017
渡名喜村	民生課	098-989-2317
南大東村	福祉民生課	09802-2-2036
北大東村	福祉衛生課	09802-3-4055

○沖縄県介護保険広域連合

所在地：〒904-0398 沖縄県中頭郡読谷村字比謝^{ひじゃほし} 55番地 比謝^{ひじゃほし}複合施設2階

総務課	総務係	☎ 098-911-7500	議会・情報公開・給与・財産管理等
	財政給付係	☎ 098-911-7505	予算・広報・入札・給付に関すること等
計画推進課	計画推進係	☎ 098-911-7501	統計資料・介護保険事業計画・地域支援事業等
	指導係	☎ 098-911-7502	介護給付適正化（過誤等）・地域密着型サービス等
会計課	会計係	☎ 098-911-7503	出納業務等
	賦課徴収係	☎ 098-911-7503	介護保険料（納め方・口座振替手続き）・被保険者証・資格等
認定課	認定係	☎ 098-911-7504	要介護認定に関すること・障害支援区分審査に関すること等
	北部調査認定事務所	☎ 098-911-7530	要介護認定・認定調査・審査会に関すること等
	中部調査認定事務所	☎ 098-911-7510	要介護認定・認定調査・審査会に関すること等
	南部調査認定事務所	☎ 098-911-7520	要介護認定・認定調査・審査会に関すること等

給付費通知の発送終了のお知らせ

これまで、沖縄県介護保険広域連合では、介護給付適正化事業の一環として、介護サービスを利用している方を対象に、年2回「介護給付費通知」をお送りしていましたが、厚生労働省による介護給付費適正化主要事業の見直しにより、令和6年度より終了することとなりました。

沖縄県介護保険広域連合ホームページでもご覧いただけます。



会計課からのお知らせ

令和6年7月20日（土）より、スマートフォンを用いた収納・決済サービスで介護保険料の納付が可能となりました。

窓口・店頭へ出向くことなく、自宅等から納付の手続きができ、とても便利です。

詳しくは、沖縄県介護保険広域連合ホームページをご覧ください。



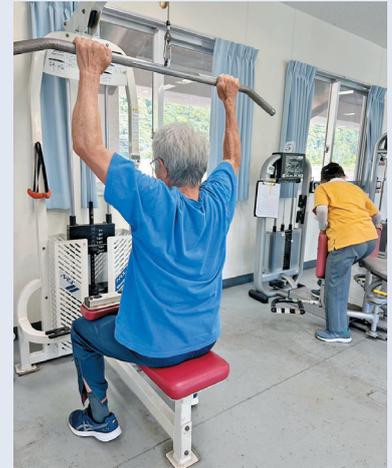
○介護予防事業の紹介

～国頭村～ 65歳から始めるトレーニング講座

国頭村では、平成30年より「65歳から始めるトレーニング講座」を実施してきました。村内在住の健康運動指導士が高齢者の体力に合ったトレーニングマシンの使い方を指導してきました。

現在はマシントレーニングだけではなく栄養指導や、他講師による歌謡曲に合わせたストレッチ等を取り入れ、介護予防の基本的な考え方である4つの柱「自立支援」「個人の尊厳」「認知症ケア」「生活の質の維持」への効果を意識して取り組んでいます。利用者同士が切磋琢磨している光景が見られ、開始から1～2年は1クール参加者がリピーターとして継続している現状にありましたが徐々に口コミで広がり、「通いの場」として利用者が増えています。参加者からは、「みんなと会って運動するのが楽しい」「自分が筋力低下していることを感じた、事業に参加したら自分に合った指導法を伝えてくれるので勉強になる」といった声がありました。

今年度も募集案内したところ、新規17名、継続者19名の応募がありました。今後もトレーニングジムを継続利用した介護予防を継続したいと思います。



～大宜味村～ 100歳体操で、楽しく介護予防

大宜味村内のある区では「100歳体操」が行われています。きっかけは、約6年前で、なかゆくい事業の一環で行われたことです。当初は区の住民向けに提供される食堂以外に何かとり入れたいと言うことで、ラジオ体操を開始しました。

しかし、朝早く行う事もあって続けることが難しく、ラジオ体操に代わる体操が今の100歳体操になりました。

その後、100歳体操とちゃ～がんじゅう体操を取り入れたことにより、参加者は多い時には10名以上になることもあるとか。100歳体操では、参加者自らが体操に使う椅子や重り等の準備から後片づけを行っています。「体操後のゆんたく会も楽しみのひとつだ」と参加者のひとは話してくれました。

今年度からは、体操が終わった後に参加者の誕生月にはお菓子やケーキを持ち寄り、ちょっとした誕生会を行っているとの事。ある参加者は、「体操を続けていく事で転倒が少なくなったり、要領よく体を動かすことができるようになった」と笑顔で話していました。

「今後は、体操の内容を工夫していきながら参加者を増やしていきたい」と世話人の方は、意気込んでいました。大宜味村では、自主体操サークルが各区で開催できるよう立ち上げ支援や継続支援を実施していく予定です。

